



湖月抄

一休 宗圓



夢浮橋

一名法の師



河海は物落の夢と相壘しり。身智よ妙すましく或河の字をと
 たりて名づは或寺の云なりらと名とをり。物よは夢とを
 の浮橋と説きり。河も夢とをり。寺も夢とをり。古来は不
 審に凡夢の浮橋とづけらる。夢をいりて。まねり。夏の
 日ころの浮橋とわら。寺よつとていふ。大方便物落のわら
 今くまよしけり。云と云らよわ。只云。迅速のこころ
 了とわら。盛者。衣のゆきと云。しりんが。あや
 今の題目と案する。よ。先。夏と。いひ。わ。有。無の諸法
 いづれも。夏よ。わ。と。い。は。る。一。涅槃經よ。八。生死。無。常。ハ
 猶如昨夢と説き。大圓覺經曰。始知衆生本來成佛。生死涅槃
 猶如昨夢。夢善男子。如昨夢。故當知生死及与涅槃。夢起。無
 滅。無來。無去。唯識論も。未得真覺。常處夢中。故佛說解生死

山よかりく 細葉中堂
一 ありまよりお世にけ
まづさくさくのあけよ
おまきよ月毎の八日よハ
あさうとさうさうとさ
あふんば茶所はよせま
あよりそりあてま
よりよ中堂よ八時
まよりさふとあり
一 品のまのほららのり
孟 傍劫のり傍劫を
お後よりお女一え乃
お抱のけれりおおまに
とくこり

のしつりさ 孟 傍劫のけ
いめつらさ

やまよかりまして 例とさせ傍劫よよ給
ゆるどくやうごを傍劫この月ハ横門
りこれハ傍劫ゆるりこりこりまりあき傍
孟 傍劫とまのよめ
おどいりちもおいのりあびよつげさ
傍劫れさうまよあさくはさるり
まらまこのさび一おまのいららの月だん
さうさびまよまざれまふらん物ハ傍劫
さうさまよまらりこまらりさうさい傍劫
まの次世はまののりお約束
今まらさうさうらさうらまらまらさうさ
まをさ
さうさうらさうらさうらさうさ
まのり
さうさうらさうらさうらさうら
傍劫のまうせ
さうさうらさうらさうらさうら

いしやうつとえぬん
おか家の乃らつていやく
つとわづととととととととと

月つらてのやとよあせう
そこおま月とよあせう
お身内事内とよあせう

おのほせうと 細由智の
あまようらとんあまの
つれととんんとつれ
んらり 益寿舟の舟と
あまのやとととととと

あまのひとととととと
三倍松の文ととととと
へのちととととと

あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと

あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと

いしやうつとえぬん
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと

あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと

あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと

あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと

あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと

あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと

あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと
あまのひとととととと

やんしかりりねと信
奉の人もゆくかありん
ひくもりもてをま
あ

ひくもりもてをま

あはるもてをま

うせめりりりり

細路舟のこしりね

とわさびのりりり

つるく舟も智恵の舟

よまきりりりり

いりりりりりり

益後舟の在せと小
よまきりりりり

ちくみりりりりり

あはる舟の舟よあり

せりりりりりり

さやりりりりりり

童よまきの口りり

ととわりりりりり
ハ唯しりりりりり
時むせりりりりり
物とりりりりりり
師るりりりりりり
ととわりりりりり
うりりりりりりり
ハ臆あまきりりり
一師法師の人と出
表せりりりりりり
世公臆ととととと
わりりりりりりり
ゆるりりりりりり

まきれは後よりりりりりり
いりりりりりりりりりりり

いりりりりりりりりりりり

いりりりりりりりりりりり

いりりりりりりりりりりり

いりりりりりりりりりりり

いりりりりりりりりりりり

いりりりりりりりりりりり

いりりりりりりりりりりり

いりりりりりりりりりりり

いりりりりりりりりりりり

いりりりりりりりりりりり

ととわりりりりりりりりりりり
ととわりりりりりりりりりりり
つとわりりりりりりりりりりり
は使あきりりりりりりりりりりり
らりりりりりりりりりりりりりり
てかりりりりりりりりりりりり
りりりりりりりりりりりりりりり

かかんさるさるしげ海の
夜も多しゆがくちり

ふらふらとゆきもの
三葉の煎よぶのみま
ふらふら
はらうとこらららららら
やまやせ 三葉舟の歌
あり

ふらふらとゆきもの
三葉の煎よぶのみま
ふらふら
はらうとこらららららら
やまやせ 三葉舟の歌
あり
ふらふらとゆきもの
三葉の煎よぶのみま
ふらふら
はらうとこらららららら
やまやせ 三葉舟の歌
あり

わらわらとゆきものと
孟わらわらとゆきものと
てあまてゆきものと
げんげん

うきうきとゆきものと
三葉の煎よぶのみま
ふらふらとゆきものと
てあまてゆきものと
げんげん

うきうきとゆきものと
三葉の煎よぶのみま
ふらふらとゆきものと
てあまてゆきものと
げんげん
うきうきとゆきものと
三葉の煎よぶのみま
ふらふらとゆきものと
てあまてゆきものと
げんげん

說間亦一二管見隨某處而附嗚呼
門人小子見此物語者源丞相所謂
君臣之交仁義之道風雅之媒菩提
之緣因此鈿而有知之則庶幾教學
之一助云尔

延寶元年冬至日

北村氏季吟

書林

林 和泉

村上勘兵衛

吉田四郎右衛門

村上勘元衛門

